

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2018-5534 (P2018-5534A)
 【公開日】平成 30 年 1 月 11 日 (2018.1.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-001
 【出願番号】特願 2016-131082 (P2016-131082)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 15/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F	15/02	3 3 0 H
G 0 6 F	15/02	3 3 0 D
G 0 6 F	15/02	3 3 5 C
G 0 6 F	15/02	3 1 5 M

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 9 】

本発明に係る計算装置は、商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定する設定手段と、入力された数値データについて、前記商余り除算の実行指示に対応する操作を受け付けると、前記入力された数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとを表示させる商余り表示制御手段と、前記商余り表示制御手段により前記商の数値データと前記余りの数値データとが表示された状態で、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、前記設定手段による設定に応じた商の数値データ又は余りの数値データを、操作を受け付けた前記演算キーに対応する演算に利用可能に入力する設定対応商余り入力手段と、を備えたことを特徴としている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定する設定手段と、

入力された数値データについて、前記商余り除算の実行指示に対応する操作を受け付けると、前記入力された数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとを表示させる商余り表示制御手段と、

前記商余り表示制御手段により前記商の数値データと前記余りの数値データとが表示された状態で、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、前記設定手段による設定に応じた商の数値データ又は余りの数値データを、操作を受け付けた前記演算キーに対応する演算に利用可能に入力する設定対応商余り入力手段と、を備えたことを特徴とする計算

装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、前記計算装置のメモリクリア後に、前記商余り除算に対応する商余りキーの操作を受け付けると、前記商利用状態、及び前記余り利用状態の何れか一方の状態から何れか他方の利用状態へ設定を変更する、ことを特徴とする請求項 1 に記載の計算装置。

【請求項 3】

前記設定手段は、前記計算装置のメモリクリア後に、前記商余り除算に対応する商余りキーの操作を受け付けると、変更後の利用状態を示す表示を行う状態表示制御手段を備える、ことを特徴とする請求項 2 に記載の計算装置。

【請求項 4】

前記商余り表示制御手段により商の数値データと余りの数値データとが表示される毎に、前記設定手段による設定に応じた商の数値データ又は余りの数値データを加算して記憶する加算記憶手段と、

前記加算記憶手段により記憶された前記商の数値データ又は前記余りの数値データを加算した加算結果の数値データについて、前記加算結果の数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとを表示させる加算結果商余り表示制御手段と、を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか 1 項に記載の計算装置。

【請求項 5】

計算装置の制御部により実行される方法であって、

商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定し、入力された数値データについて、前記商余り除算の実行指示に対応する操作を受け付けると、前記入力された数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとを表示させ、

前記商の数値データと前記余りの数値データとが表示された状態で、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、前記設定に応じた商の数値データ又は余りの数値データを、操作を受け付けた前記演算キーに対応する演算に利用可能に入力する、ようにした計算方法。

【請求項 6】

コンピュータを、

商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定する設定手段と、

入力された数値データについて、前記商余り除算の実行指示に対応する操作を受け付けると、前記入力された数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとを表示させる商余り表示制御手段と、

前記商余り表示制御手段により前記商の数値データと前記余りの数値データとが表示された状態で、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、前記設定手段による設定に応じた商の数値データ又は余りの数値データを、操作を受け付けた前記演算キーに対応する演算に利用可能に入力する設定対応商余り入力手段、として機能させるためのコンピュータ読み込み可能なプログラム。

【請求項 7】

商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定する設定手段と、

数値データの入力操作と商余り除算に対応する商余りキーの操作とを受け付けてから、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、入力された前記数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとのうちの、前記設定手段による設定に応じた何れかの数値データを表示させる設定対応商余り表示制御手段と、を備えたことを特徴とする計算

装置。

【請求項 8】

前記設定対応商余り表示制御手段は、

商余り除算又は商余り除算以外の四則演算の何れかの演算に対応するキーを、前記演算キーとして、前記操作を受け付ける、ことを特徴とする請求項 7 に記載の計算装置。

【請求項 9】

数値データの入力と前記商余り除算の実行指示に対応する操作を受け付けると、入力された前記数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとを表示させる商余り表示制御手段、をさらに備えたことを特徴とする請求項 7 又は請求項 8 に記載の計算装置。

。

【請求項 10】

前記商余り表示制御手段により前記商の数値データと前記余りの数値データとが表示された状態で、前記演算キーの操作を受け付けると、前記設定手段による設定に応じた商の数値データ又は余りの数値データを、操作を受け付けた前記演算キーに対応する演算に利用可能にする設定対応商余り入力手段と、をさらに備えたことを特徴とする請求項 9 に記載の計算装置。

【請求項 11】

計算装置の制御部により実行される方法であって、

商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定し、数値データの入力操作と商余り除算に対応する商余りキーの操作とを受け付けてから、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、入力された前記数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとのうちの、前記設定に応じた何れかの数値データを表示させる、ようにした計算方法。

【請求項 12】

コンピュータを、

商と余りとを計算する商余り除算の計算結果の商の数値データを利用する商利用状態、又は前記計算結果の余りの数値データを利用する余り利用状態の何れかの状態を設定する設定手段と、

数値データの入力操作と商余り除算に対応する商余りキーの操作とを受け付けてから、演算に対応する演算キーの操作を受け付けると、入力された前記数値データに対応する商の数値データと余りの数値データとのうちの、前記設定手段による設定に応じた何れかの数値データを表示させる設定対応商余り表示制御手段、として機能させるためのコンピュータ読み込み可能なプログラム。